

パラフットボール体験会 静岡大学サッカー部

1 日 時 2021. 5. 30

2 場 所 静岡大学

3 内 容 アンパティサッカー、ブラインドサッカー体験

4 協 力 ガネーシャ静岡 AFC・FC コレチーボ静岡

5 参加者 静岡大学サッカー部 55 人

6 日程と内容

① 選手の話・障がい、友だち、社会参加、サッカーとの出会い、生きがいなど

② ブラインドサッカー体験

ガイドの指示でボールを探そう！、ドリブル体験、PK 体験

ドリブラチャレンジ（ブラインドでドリブルタイムトライアル）

③ アンパティサッカー体験

歩く、走る、キーパー体験、試合体験

アンパティボールフォワードイング（パスのタイムトライアル）

パラスポーツの体験を通して、いつもと違う雰囲気ですoccerを楽しめたと同時に障がいのある人が、いつもこのような負担があることを実感した。

「たくさんの方ができる」スポーツを広めたり、日常で障がいのある方のサポートを意識したりしたいと思った。

スポーツというものの面白さを改めて感じた。人生が全く違う人達が、同じピッチの上で一つのボールを追いかけることの楽しさはサッカーの本質であるし、障がいあるないは関係ないのだ。

普段やらない動き、視覚、脚の制限で、新しいスポーツの魅力に気付いた。行った内容も、ゲーム性が高く面白い内容だった。

どちらのサッカーも、サッカーの要素をもちつつ、違う面もあり、とても奥深い。



体力的にすごくしんどかった。サッカーというスポーツだけど、それぞれ公平にできるルールや仕組みがあってすごく面白いと思った。

パラスポーツにも、自分たちが普段やっているスポーツにも負けないくらいの技術があって楽しかった。

思っていた以上に過酷なスポーツだった。このような機会が増えることで、障がいのある人への印象や理解が変化すると思った。

障がいのある方々は、身体的にはもちろん精神的にも傷を負っていることが多いから、丁寧な対応が必要だけど、一歩間違えば差別になるから難しいと思った。

スポーツは、誰でもでき、言葉の壁を超えたコミュニケーションになると思った。

選手の皆さんの話は、どの方も非常に前向き、Positiveで自分自身も様々なことに失敗を恐れずに取り組んでいこうと思った。